

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問  
無線工学 12問 } 24問 1時間

### 法 規

〔1〕 無線局の無線設備の変更の工事の許可を受けた免許人は、総務省令で定める場合を除き、どのような手続きをとった後でなければ、許可に係る無線設備を運用することができないか。次のうちから選べ。

- 1 当該工事の結果が許可の内容に適合している旨を総務大臣に届け出る。
- 2 総務大臣に運用開始の期日を届け出る。
- 3 工事が完了した後、運用したい旨総務大臣の許可を受ける。
- 4 総務大臣の検査を受け、当該工事の結果が許可の内容に適合していると認められる。

〔2〕 電波の主搬送波の変調の型式が角度変調で周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャネルのものであって、伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表す記号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 J 3 E
- 2 F 3 E
- 3 A 3 E
- 4 F 1 B

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、25,010kHz以上の周波数の電波を使用する船舶局の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 5ワット
- 2 10ワット
- 3 50ワット
- 4 100ワット

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 電波法に違反したとき。
- 2 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
- 3 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 4 免許証を失ったとき。

〔5〕 免許人は、その船舶局が遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 2 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。
- 3 船舶の所有者に通報する。
- 4 速やかに、海上保安庁の海岸局に通知する。

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 1箇月以内にその旨を総務大臣に報告する。
- 2 速やかに、総務大臣の承認を受ける。
- 3 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 4 2週間以内にその旨を総務大臣に届け出る。

## 第二級海上特殊無線技士試験問題

### 法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 2 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 3 特定の相手方に対して行われる無線通信
- 4 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信

〔8〕 船舶局に備え付けておかなければならない時計は、その時刻をどのように照合しておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 毎日1回以上中央標準時又は協定世界時に照合する。
- 2 毎月1回以上協定世界時に照合する。
- 3 毎週1回以上中央標準時に照合する。
- 4 運用開始前に中央標準時又は協定世界時に照合する。

〔9〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信することができない事由があるときに応答事項の次に送信することになっている事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 「お待ちください」及び通報を受信することができない理由
- 2 「どうぞ」及び通報を受信することができない理由
- 3 「お待ちください」及び分で表す概略の待つべき時間
- 4 「どうぞ」及び分で表す概略の待つべき時間

〔10〕 無線局が電波を発射して行う無線電話の機器の試験中、しばしば確かめなければならないことはどれか。次のうちから選べ。

- 1 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
- 2 空中線電力が許容値を超えていないかどうか。
- 3 「本日は晴天なり」の連続及び自局の呼出名称の送信が5秒間を超えていないかどうか。
- 4 その電波の周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。

〔11〕 156.8MHzの周波数の電波を使用することができないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 遭難通信を行う場合
- 2 安全通信（安全呼出しを除く。）を行う場合
- 3 緊急通信（医事通報に係るものにあつては、緊急呼出しに限る。）を行う場合
- 4 呼出し又は応答を行う場合

〔12〕 船舶局が安全信号を受信したときは、どうしなければならないか。電波法の規定に照らし、次のうちから選べ。

- 1 自局に関係のないことを確認するまでその安全通信を受信する。
- 2 自局に関係がないものであってもその安全通信が終了するまで受信する。
- 3 できる限りその安全通信が終了するまで受信する。
- 4 少なくとも2分間はその安全通信を受信する。